

ROTARY CLUB OF

KANAZAWA-NORTH



金沢北ロータリークラブ

例会日：木曜日 12:30～13:30

例会場：卯辰山・ホワイトハウス

事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所

TEL <0762> 22-2525

会長：土原一二 幹事：山上啓介

情報委員長：米沢修一

1980・10月16日 第176号

“ニューモラルの基本思想”

道德科学研究所 松本 進氏



ニューモラルの思想は単なる教訓的な道德ではなく道德科学（モラロジー）という学問に基いて提唱されているものであり、新しい学問的体系をもった道德学です。

この運動は明治の代表的日本人であり、すばらしい教育学者であった広池千九郎氏によって大正15年に創建されました。

人間のあり方、人生の生き方については幾多の聖人、先哲が宗教哲学として人類に教え広めました。帰する処それは人間の安心、平和、幸福の実現という一点の為であり、又、夫々の教えの基本は聖人、哲人の思想、道德にほかなりません。

今日一般の人々がその思想を修得することは難解であり、社会的にも受け入れ難いものとされています。そこでこの運動は現代社会にこの思想を普及する為には聖人の思想、道德に関する共通の原理を発見し学問として科学として示さなければ現代において説得力がないとの考え方が根本です。

科学としての原則は何時、誰が行っても同じ結果であり、又その方法が示されていなければなりません。この運動も教訓でなく安心、平和、幸福の実現の手段として、又より身近な人間生活のルールとして提唱されているのです。

国際間の武力、経済戦争、又現代社会のあらゆる問題に目を向けてみよう。そこには人間の利己心がうず巻き相手を思いやる、いたわりの心の必要なことを痛感すると同時に人間の精神的な進化がなされていないのでないかと思えます。

ニューモラルは、政治、思想、信仰の相違を問わず、高い心づかひの道德、建て前として人に押しつけるのではなく、本音の心づかひをいかにして持ち続けて行くかを追求、実践しモラルは一つという考え方ですべての人々と手をつないでいく運動なのです。

—金沢北RC例会講話から—（文責 米沢修一）

二百八十円の値打ち

清水 忠

洋子、元気で勉強していますか。

今日は信州の旅の小さなエピソードについて書こう。

昨日、父は所用で長野県の松本へ行って来た。その帰りのことである。

父の乗った鈍行列車が、大糸線の平岩という小駅に止まった時、十数人の老人たちが賑やかに乗込んで来た。

見れば70才ばかりの老婆たち、中には80路を超える嫗もいたが、其のあまりに楽しそうな様子に魅きこまれて、

『おばあさんたちは、どこへ行って来たの』と聞いて見た。

すると老人たちは異口同音に、

『姫川温泉へ行って来ました。私たちは、ここから三つ目の駅の根知という所から、日帰りで弁当持ちで、一日たっぷりお湯に浸って来ました』

と答え、老人デーで温泉が100円、往復汽車賃が180円、合計280円でこんな楽しいことは無かった、明日からまた野良仕事に精

出そうと、目を輝かせながら語り合うのであった。

話はこれだけに過ぎない。しかし父は、この老人たちが、暮れなずむ夕映えの根知の駅に降りて、三々五々、炊煙漂う山峡の家路へ急ぐ後姿を、車窓から見送りながら国木田独歩の“忘れ得ぬ人々”の感動を禁ずることができなかった。

母なる大地の一点景にすぎぬ人間たち、生れながらにして土と共に生き、土の中にかえるであろう農婦たち。

しかし、彼女たちこそ、今日の日本を築き上げる一つの礎ではなかつただろうか。その彼女たちにとって、一日僅か280円のささやかな遊びは、万金に換えがたい値打ちを持っているではないか。

およそ自らの手と汗で金を稼いだことも無いのに、これに数十倍数百倍する金をレジャーに消費しながら、なお且つ満たされることの無い若者が、洋子のまわりにはないと言い切れるだろうか。

私は今、老婆たちの皺に刻まれた、しかし素朴な喜びに満ちた顔を思い起しながら此の手紙を書いている。

最後に、金の値打ちということについて夏目漱石の次の言葉を記して、今日の手紙をおわりにしよう。

『或る人は、十銭を以て

一銭の十倍と考える。

又或る人は、十銭を以て

一円の十分の一にすぎぬと考える。』



ガバナー公式訪問

当クラブ、ガバナー公式訪問が10月9日行われた。地区より高瀬重雄ガバナー、石川県第1分区代理、泉健三両氏が出席され、午前中の会長・幹事懇談会に引き続き例会に、又1時40分より、役員・理事とのクラブ協議会を2時間にわたって熱心に意見を交した。



9月例会出席状況

出席率 98.18%

会員名	月日	9/4	9/11	9/18	9/25	9月	会員名	月日	9/4	9/11	9/18	9/25	9月
浅田豊久		○	○	M	○	◎	大村精二		M	○	○	○	◎
浅野弘		M	M	○	○	◎	岡部三郎		M	M	欠	○	×
出島敬		M	M	○	M	◎	岡田林太郎		○	○	○	○	◎
二木正樹		M	○	○	○	◎	才田次男		○	M	○	○	◎
長谷川幸一		○	M	欠	○	◎	桜井健太郎		○	○	○	○	◎
橋場信明		○	○	M	○	◎	柴田哲三		○	○	○	○	◎
本江他美夫人		○	○	○	○	◎	清水村忠明		M	○	M	○	◎
市川健志		○	○	○	○	◎	下村喜代次		○	○	○	M	◎
飯野丸		○	○	○	○	◎	塩村厚		M	○	○	○	◎
今石正幹		○	○	○	○	◎	庄田田全		○	M	M	○	◎
上野次恒		○	○	M	○	◎	高田山雄		○	○	M	○	◎
笠間島仁		M	○	○	○	◎	館原代吉		○	M	○	○	◎
木下隆吉		○	M	○	○	◎	依原一成		○	○	○	○	◎
小林尚男		○	○	M	○	◎	土佃一		○	M	○	○	◎
小間井宏		○	○	○	○	◎	佃見一		○	○	○	○	◎
越野民男		○	○	○	○	◎	上田荣忠		○	○	○	○	◎
小杉守善		○	○	○	M	◎	魚住三啓		M	M	○	○	◎
小杉善		○	○	○	○	◎	若野上彦		○	○	○	○	◎
増江三太郎		出	席	免	除	◎	山山米啓		○	○	○	○	◎
本岡市太郎		○	○	M	○	◎	山米繁修		○	○	欠	○	◎
中村三彦		○	○	○	○	◎	米田昭賢		○	M	M	○	◎
中村合		○	○	○	○	◎	吉由山		○	M	M	M	◎
落合		○	○	○	○	◎							◎
大場勝雄		M	○	○	M	◎							◎

